



(株)ヤマハ藤田

インタビューに応じてくれたのが、マリン事業部チーフマネージャーの藤田忠久さん。話を伺っていて思ったのは「専門的なことでも、分かりやすく話す人だな」ということだった。話が簡潔でユーモアがあるのは、彼が生れ持つセンスであろう。

大学時代、自動車部に所属していたという。6時

間耐久レースをやるほど本格的なものだった。卒業後は、ヤマハ発動機(株)に入社。5年間勤務し、今の基礎を築いた。モーター系、スピード系が大好きで、この仕事にも大きな影響を与えているようだった。

話の途中だが(株)ヤマハ藤田のご紹介。兵庫県姫路市に本社を構え、新艇・中古艇の販売、修理、マリン用品販売、小型船舶免許教習所事業、レンタルボート事業、マリナー経営などを行っている——マリンのエキスパートである。1950年創業。今年で55年目を迎えるとのことだ。

「私で4代目となります。元々はオートバイのディーラーでした。ヤマハがマリン事業を開始する同時期に、我社もマリン事業を行うことに……。それが、3代目つまり父の代でした。初めは造船業が主でしたね」

と、藤田さんは話す。だから、モーター・エンジン系に強い!だから、お客さんもこころ強い!——(株)ヤマハ藤田の人気の秘訣はここにあるのかなと感じた。

「免許を取得する人は、意外と多いです。うちでも20代~40代の若い人たちが取得しています。しかし、その中でボートを所有し、楽しんでいる人はあまり多くありません。だからレンタルボートや遊び方の提案、アフターサービスなどで、そういうお客



マリン事業部チーフマネージャーの藤田忠久さん。

さんがボートの世界に入りやすいよう務めています。『ボートの敷居を低くする』っていうのが私たちのポリシーであり、目指すところですね」

敷居を低くするそのひとつとして、中古艇販売も挙げられるだろう。常時50艇は用意されており「整備されていて」「数が多くて」「分かりやすい」を重要視している。なんだか、中古車の感覚に似ている。閉鎖されている感はなく、オープンで誰にでも入りやすいのだ。

この日の取材は、オークマリナー店で行われたが、この近くに県営のボートパークがある。月々7300円~で係留可能、しかも入会金、保証金等一切なしと、東京では考えられない嬉しい金額。(株)ヤマハ藤田は、ボートを購入したお客様に、このボートパークの紹介も行っているとのことだ。

「瀬戸内海は、1時間も走ったら無人島がいくつもある。パーベキューしたりと、ワイルドな遊びができる。日本で一番おもしろいところですよ」

と藤田さんが話すように、ここには、遊ぶ環境も整っている——。

最後に、中古艇を購入する際アドバイスをもらおうかと思ったが、答えは分かっていた——「整備されていて」「数が多くて」「分かりやすい」販売店で、そして、藤田さんに相談してみるのが良い、ということ。

特選
オス
スメ
中古ボ
ート

(株)ヤマハ藤田



ヤマハPC-27 H7年式 755万円 ヤマハの名艇ともいえるPC-27。状態が良く、極上品だ。個室トイレやGPS魚探などを装備している。エンジンはヤマハSX370KS (165HP)の2基掛。



PC-28EX H11年式 1,200万円 お買得のボート。美艇。陵波性に長けており快適な走りを提供する。搭載エンジンは、ヤマハSX370KS (165HP)×2。早いもの勝ち。(写真提供/ (株)ヤマハ藤田)



ヤマハSF-31 H7年式 1,300万円 ヤマハSX420KM (240HP)を2基搭載。オーディオ、エアコン、GPS魚探、レーダーなど装備が充実。ハイクオリティを誇る、完成度の高いボートである。(写真提供/ (株)ヤマハ藤田)

(株)ヤマハ藤田
〈本社〉〒670-0012 兵庫県姫路市本町155

〈書写展示場〉
〒671-2124 兵庫県飾磨郡夢前町玉田273-9

〈オークマリナー店〉
〒671-1321 兵庫県揖保郡御津町苅屋1131-1

〈西宮今津店〉
〒663-8225 兵庫県西宮市今津西浜町2-16

[TEL] 0793-35-3677
[FAX] 0793-35-3891
[e-mail] info@sea-c.com
[URL] www.sea-c.com/

文=飯塚佳子
text by IIZUKA Yoshiko
写真=河合信也
photography by KAWAI Shinya

県営の網干ボートパーク。保管料は月々7300円~。そして入会金も保証金も0円というのが嬉しい限り。周辺の環境も良く、最高の保管場所となるだろう。詳細は(株)ヤマハ藤田までお問い合わせを。

